組織行動研究

No. 18

編集後記にかえて

「普通人々は悪魔といえばたいていやせていて，細い顎に尖り髭をうすくはやしていると考える。一方，太っちょは，どこか気立のよい愚かさを備えている。聖者たちはひょろりとした姿で，手足は長く厳かな物腰だ。常識あるおかみさんは，ずんぐりしてまんまるな姿で手を腰にあてている。手短にいえば，節操高い人と悪魔は尖り鼻で，ユーモアのわかる人は太い鼻をしていなければならない・・・」

これは本文でも引用したクレッチマーの「体格と性格」の冒頭の一節である。

クレッチマーはこの「体格と性格」の関係を実証的に研究した。

併し，われわれが本研究でやったのは“本当に普通の人にこの一節のように見えるのだろうか？”ということである。或いは，“殆んどの人がそのように思っているのだろうか？”ということである。

そして，この仮説は本論文で述べたようにどうやら実証されたようである。

話は変るが，昨年，著者は「性格は顔で分かる」という一般書を講談社から出版した。これはクレッチマーの法則の方の紹介である。その時の知人への案内に“KO”をクビになったらシブヤの駅前で人相見をやるつもりだと書いた。こちらの方は何がしか対人認知が絡んでくる問題である。

この論文の結果をみると，どうやら「人相見」がつとまりそうである。

慶應義塾大学産業研究所社会心理学班研究モノグラフ
組織行動研究（第18号）
責任編集　槇田　仁・南　隆男

KEIO STUDIES ON ORGANIZATIONAL BEHAVIOR AND HUMAN PERFORMANCE No. 18
DECEMBER 1990

発行　〒108 東京都港区三田 2—15—45
慶應義塾大学産業研究所
電話 03—(3453)—5640(直通)
＜平成2年12月28日＞

印刷　〒104 東京都新宿区高田馬場 3-8-8
株式会社 国際文献印刷社
電話 03—(3362)—9741(代表)
＜平成2年12月21日＞